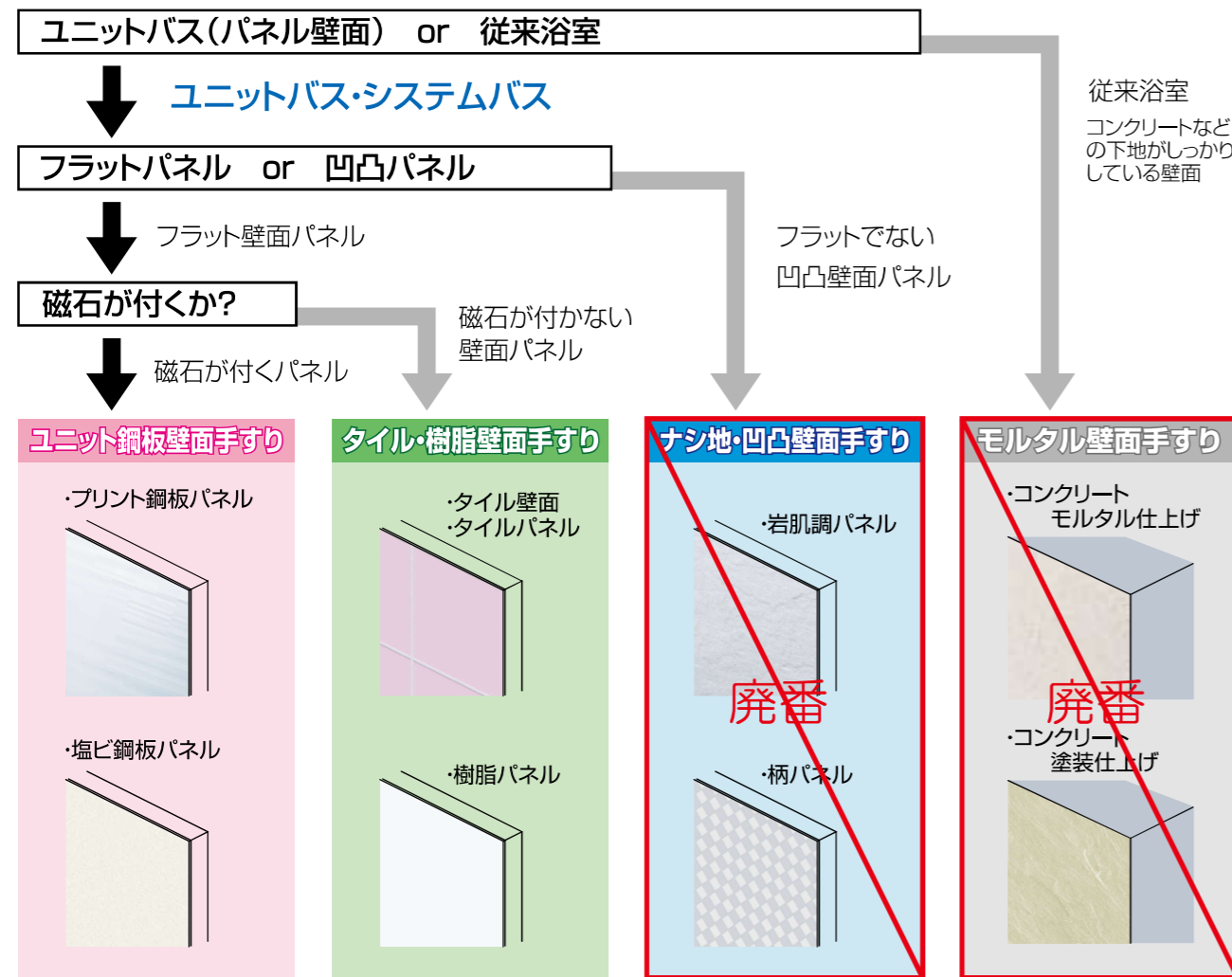
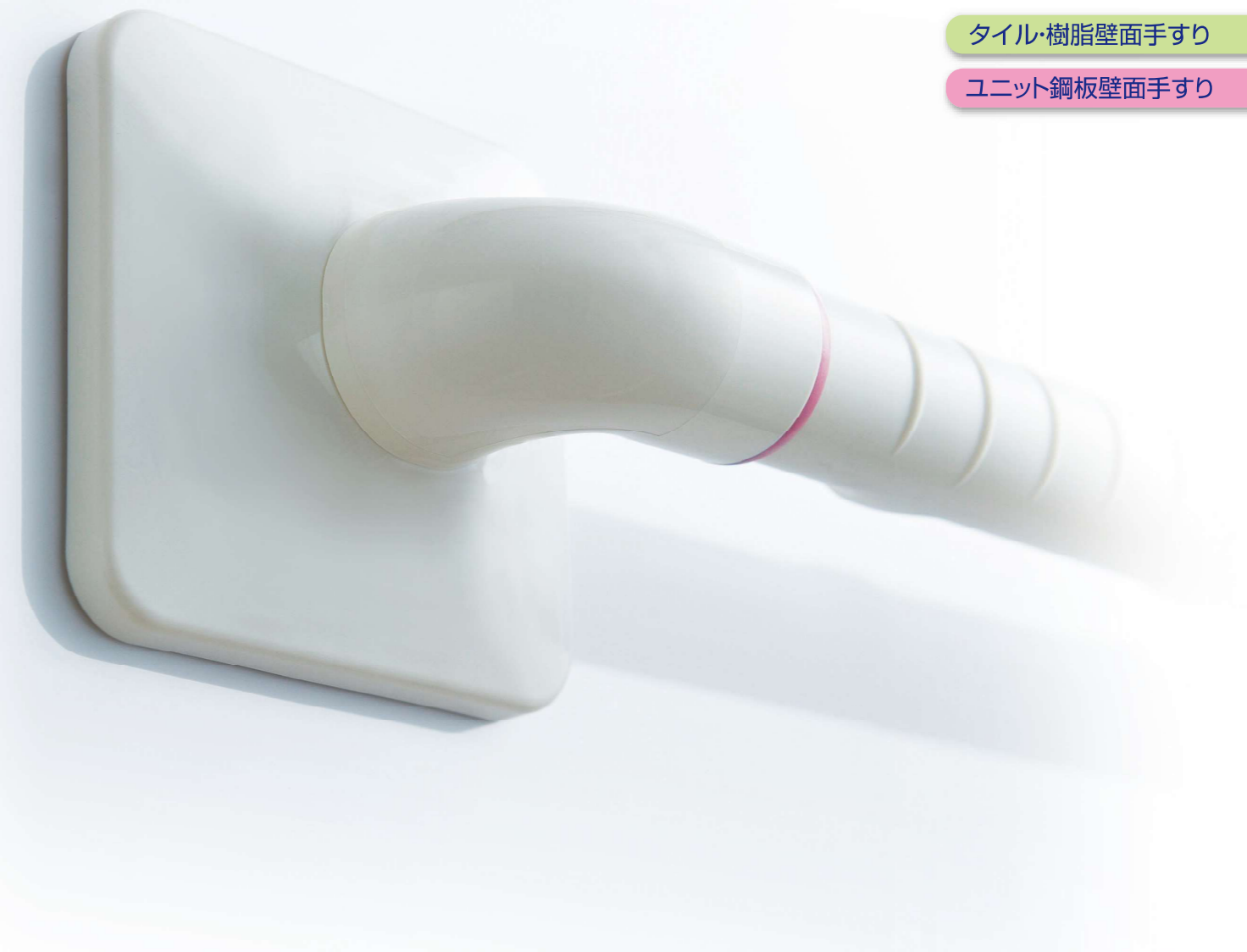


ユニットバスの壁面に合わせて選べる4つの施工方法



ユニットバス壁面に「穴あけ不要」の手すり ベストセレクトバー

ユニットバスの壁面にあった手すりを選べます



タイル・樹脂壁面手すり

ユニット鋼板壁面手すり

いつも人々にやさしく輝いています
DIPPER ホクメイ 株式会社

〒544-0001 大阪府大阪市生野区新今里2-4-1
大阪 TEL.06-6754-0625 FAX.06-6758-6485

東京 TEL.03-5818-0621 FAX.03-5818-0624
中部 TEL.052-459-3004 FAX.052-453-1277
福岡 TEL.092-686-9300 FAX.092-686-9260

URL <http://www.dipper-hokumei.co.jp>

■このカタログの記載内容は指定事業者を対象に構成されています。
■カタログの商品仕様・価格は改良の為、予告なく変更する場合があります。
■カタログの写真は印刷の為、多少実物とは異なります。

2023.01.19Web

施工責任取付製品

いつも人々にやさしく輝いています
DIPPER ホクメイ

ベストセレクトバー

ユニットバス壁面に対応した「穴あけ不要」の
取付工法とモルタル用手すりのご提案をいたします。



セレクトバーとは…

ユニットバスがかなり普及している近年、各メーカーそれぞれの壁面で、以前の塩ビ鋼板などは新機種では無くなり、化粧鋼板、タイルパネル、樹脂パネルとさまざまな壁面が混在しています。従来工法の浴室に見られる

モルタル壁面などを含め壁面の多様化が進んでおります。

それらの多種多様な浴室壁面に対して、安全・安心に施工できる手すりとして今回【セレクトバー】を開発しました。

セレクトバーは「安全・安心の手すり」として従来壁面手すりとは異なる考え方で、

より深く壁面手すりを見つめ直した製品です。

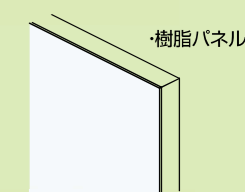
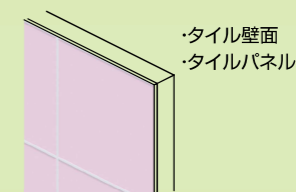
手にしっかりフィット
する樹脂グリップ



INDEX

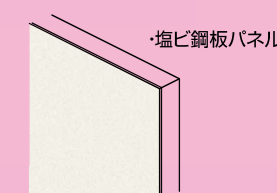
P3 タイル・樹脂壁面手すり

鋼板パネル以外のタイルパネル、鋼板が入っていないパネルに対しては
圧着手すりその後付け施工することができます。



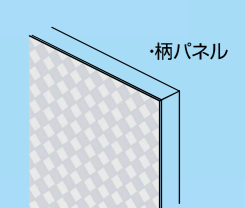
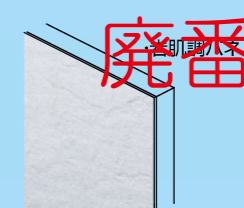
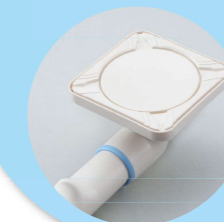
P4 ユニット鋼板壁面手すり

ユニットバス壁面で最も普及している鋼板壁面に対してマグネット手すり
を利用することで穴あけ工事などすることなく確実に施工することができます。



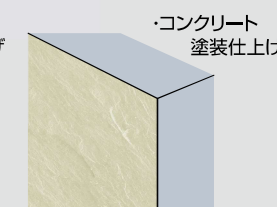
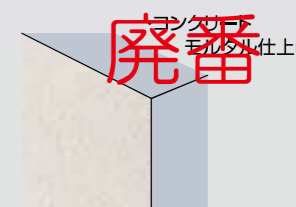
ナシ地・凹凸壁面手すり

ユニット壁面の中には、表面が岩肌調や柄などにより設置面がフラットでない
パネルがあります。このようなパネルに対してはサクシオン手すりで行えます。



モルタル壁面手すり

ユニットバス以外の従来の浴室、コンクリートタイル仕上げ、モルタル仕上げの
壁面にはビス止め手すりも用意しております。



取付けられない壁面

石膏ボード(壁面、クロス仕上げ)などの弱い壁面には設置できません
ユニットバスの内装リフォームを行った浴室には設置できません。
メーカーの純正ユニットバスを対象に施工してください。

タイルパネルFRPパネルへ取付けるには

タイル・樹脂壁面手すり

タイル壁面・パネル用

タイル壁面
タイルパネル
樹脂パネル



手すりの後付けが困難であったユニットバス、タイルパネルに取り付けできます。

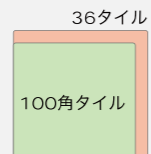


圧着ベース裏面

ベース部圧着機構により特殊接着シートを確実に接着、タイルパネルにしっかりと後付けできるタイプの手すりです。

36タイル(109角108角)へも現場対応可能

100角、150角、200角タイルの他、旧来の36タイルへも設置できます。この大きさのタイルへは手すりのアジャスターで調整することで現場で取り付けピッチを合わせることができます。 600用(556mm対応) 400用(444mm対応)

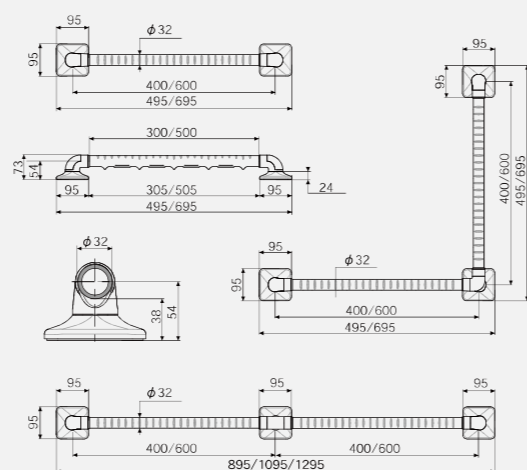
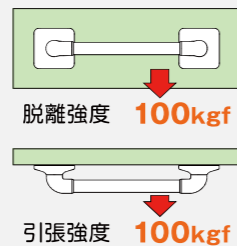


施工には混合ガンが必要です



SB-310 混合ガン ¥8,800(税込)

安全耐荷重



圧着手すり	品番	サイズ	本体価格
ストレート	UA-400-10	400	¥20,900(税込)
	UA-600-10	600	¥22,000(税込)
L型	UA-440-10	400×400	¥34,100(税込)
	UA-460-10	600×400	¥35,200(税込)
	UA-660-10	600×600	¥36,300(税込)
連続型	UA-404-10	400+400	¥34,100(税込)
	UA-406-10	600+400	¥35,200(税込)
	UA-606-10	600+600	¥36,300(税込)

施工手順



鋼板入りパネルへ取付けるには

ユニット鋼板壁面手すり

鋼板パネル専用

プリント鋼板パネル
塩ビ鋼板パネル
ホーローパネル



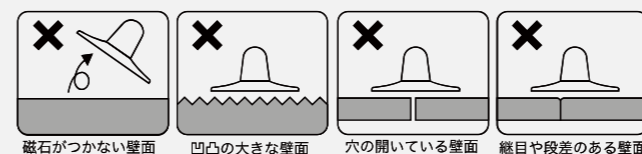
特別な壁面裏地施工を行わずユニット鋼板パネルに取り付けできます。



マグネットベース裏面
(特殊接着シート付き)

マグネットとベース機構によりユニットバス鋼板パネルに対して確実に後付けできるタイプの手すりです。

磁石がつく鋼板パネルに取り付けOK

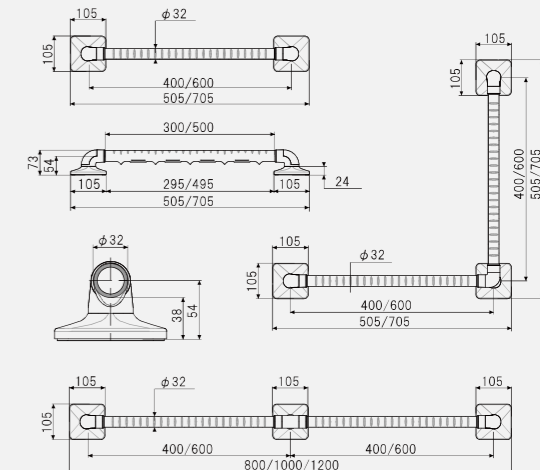
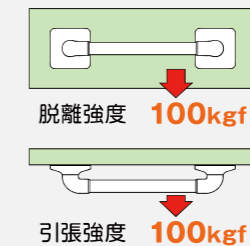


施工には混合ガンが必要



SB-310 混合ガン ¥8,800(税込)

安全耐荷重



マグネット手すり	品番	サイズ	本体価格
ストレート	UM-400-10	400	¥20,900(税込)
	UM-600-10	600	¥22,000(税込)
L型	UM-440-10	400×400	¥34,100(税込)
	UM-460-10	600×400	¥35,200(税込)
	UM-660-10	600×600	¥36,300(税込)
連続型	UM-404-10	400+400	¥34,100(税込)
	UM-406-10	600+400	¥35,200(税込)
	UM-606-10	600+600	¥36,300(税込)

施工手順



介護者の動作と浴室環境の設計に基づいたベストセレクトバー

背景

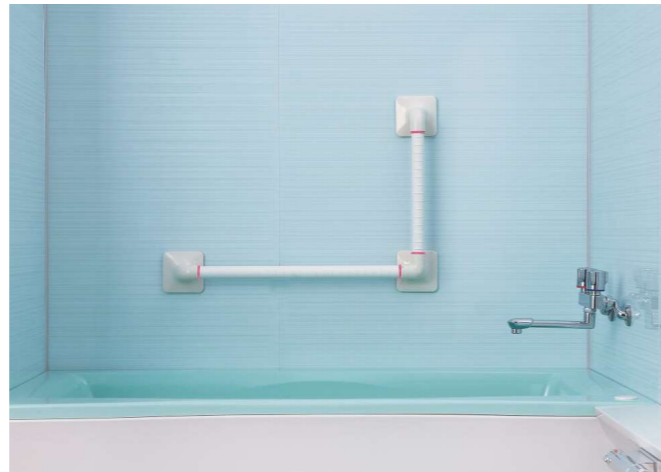
浴室手すりのニーズ

ユニットバスの普及

従来の内壁工法は、手張り工法で、タイルを積上げ張りや圧着張り等で壁面の化粧・耐水性を補っていた。現在は、ユニットバスの普及によりパネル方式浴室が増えマンション等はほとんどがパネル方式の浴室になっている。

高齢者の増加と後付け手すりの依頼増加

高齢者の増加に伴い後付けによる手すりの設置依頼も増加



開発の視点

ユニットバスは壁面の材質の種類やメーカーの工法も違い後付け手すりの取付が難しい

ユニットバス壁面に施工者が後付けで手すりを容易に設置すること

設置の専門知識・技術等を要さなくても容易に設置できる工法の開発

浴室への後付けが難しい要因・課題

- パネルの裏面の状況確認が出来ない
- 躯体とパネルとの隙間
- 断熱材等の有無
- 裏補強材の位置
- 穴をあける不安
- 水漏れ等の不安
- 穴あけ位置の失敗
- 設置後の経年変化によるグラつき等での再設置
- 専門知識がいる
- 専門技術がいる
- 素人では出来ない

課題解決と条件

基本条件

- 施工手順通り作業をすれば誰が付けても同じ強度を確保できる
- 壁面（被着体）に応じベストな取付け工法を選択できる
- 多重の安全性を確保できる工法を確立させる
- 責任施工を明確にする

共通作業条件

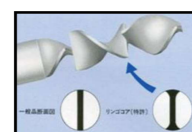
- ① 専用アルコール・スクレイパーで取付面の不純物を落とす
- ② 取付け面を専用プライマーで拭き、接着の安定を図る
- ③ 説明書作業手順通りに手すりの設置を行う
- ④ 専用接着剤を隙間無く塗布する



専用接着剤



ミキシングノズルの分割作用
流体はひとつのエレメントを通過することに2分割されます。



エレメント数=1 2
分割数=4096

施工には専用混合ガンが必要です



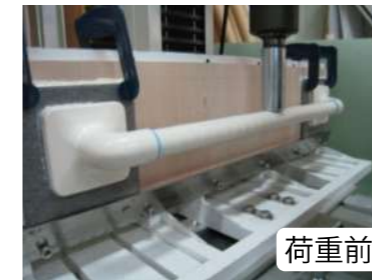
SB-310 混合ガン ¥8,000+税

セレクトバー各種耐久強度試験（社内及び、公的機関で実施）

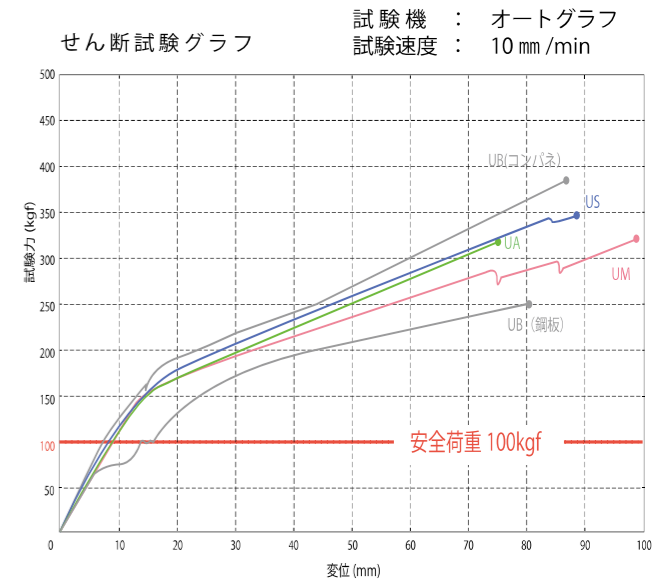
耐荷重試験

せん断試験（破壊試験を含む）

荷重後に試験体にどれだけの荷重が加わり、どのように変化したかを検証する試験



条件・・・被着壁面に固定した手すり中央部を一定速度で加圧
手すりが破損、脱離するまでの荷重をもとめる
結果・・・安全荷重内での変化はなく、一定して強度を確保



疲労試験（繰り返し荷重試験）

ベタリーピングの手すり強度基準である60kgfを繰り返し10万回荷重し、手すりに変化が起こるかを検証する

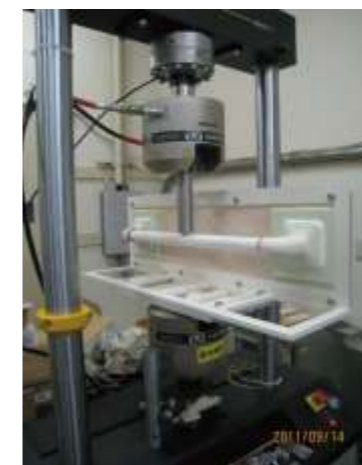
10万回は1日10回使用したとして、約27年もの強度計算

（ただし、実際の使用下では様々な要因が付加するため、あくまで、参考数値です）

条件・・・手すり中央部に上から49N（5kgf）～588N（60kgf）の繰り返しを10万回

結果・・・目視上・割れ、亀裂等異常なし

耐久試験品のせん断試験・・・著しい強度低下なし



劣化促進試験（恒温恒湿試験）

条件 摂氏65度・湿度90%
11日間公的機関で実施

物質が高温・高湿になるほど劣化が進む現象を数式化したもの

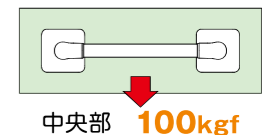
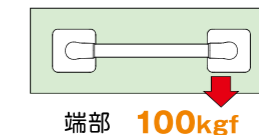
この計算を基に、約10年を経過し劣化した状態に近づけ再現する試験方法



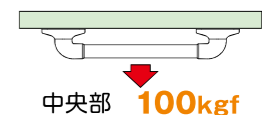
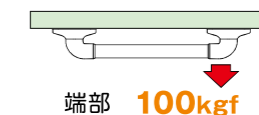
試験結果の劣化傾向・・・検算約10年 異常変化なし
疲労試験試験品のせん断試験・・・著しい強度低下なし

安全耐荷重

脱離強度



引張強度



上記試験数値は、測定値です。保証値ではありません。

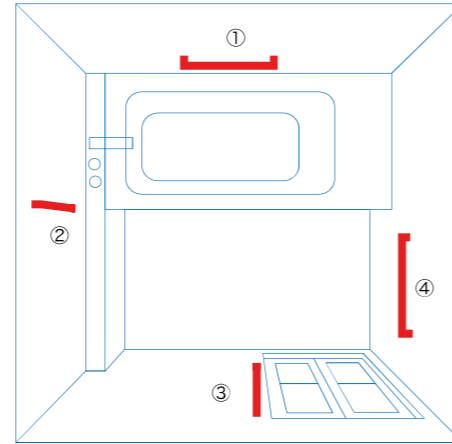
介護保険住宅改修は、施工により取り付けるものが住宅に「固定」されている必要があります

固定方法による支給対象の可否

固定の方法	支給対象の可否	判定理由(●は注意事項)
1 ネジ・釘による固定	○	●屋外・浴室等、水がかかるところでは、サビ等の発生が予測されるため、強度を確保すること。
2 接着剤による固定	○	●耐久性能(強度)のある接着剤を使用すること。 (強度の耐久保持期間が有期限のものは対象となりません。住宅改修は、利用者が終生利用できることを前提とした制度です。) ●屋外・浴室等、水がかかるところでは、耐久性能のある物を使用。
3 マジックテープ等による固定	×	支給対象外(外すことができる仕様は、支給対象外) ●ただし接着剤等、支給対象の固定と併用している場合は支給対象。
4 敷き詰めて固定	×	支給対象外(外すことができる仕様は、支給対象外) ●ただし接着剤等、支給対象の固定と併用している場合は支給対象。
5 穴に差し込んで固定	×	支給対象外(外すことができる仕様は、支給対象外) ●ただし接着剤等、支給対象の固定と併用している場合は支給対象。

手すりの取り付け位置

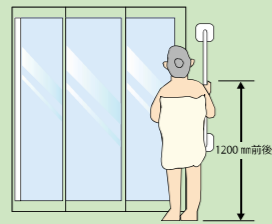
つまずきやすい出入口の段差、水にぬれた洗い場での移動、片足立ちになる浴槽への出入りなど浴室での動作は身体が不安定になりがちです。手すりを設置することで、お年寄りや身体の不自由な方がより長く自立した生活を送ることができます。



手すりの取り付け位置はご利用者さまと十分に検討し施工を行ってください。

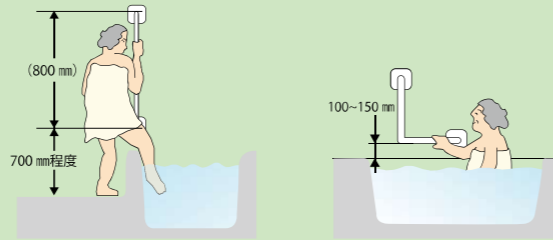
出入り用縦手すり(脱衣室側)

浴室の出入口付近はドアの開閉や出入りの時に、身体のバランスを崩しやすい場所です。縦手すりを設置すると身体のバランスが取りやすくなるので安全です。



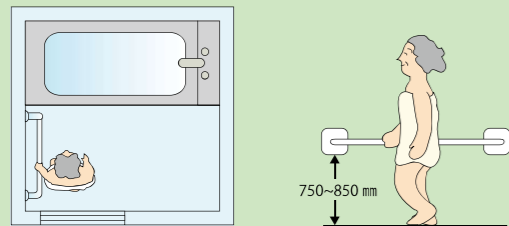
浴槽出入り用縦手すりと浴槽内立ち座り用手すり

浴槽をまたぐ際はバランスを崩しやすく、不安定になります。浴槽の縁の真上に縦手すりを設置すると、身体を支えてくれるので安全に出入りできます。L型手すりを設置すると浴槽内での立ち座りがしやすくなり、また横手すりは入浴姿勢を安定できて安心して入浴できます。



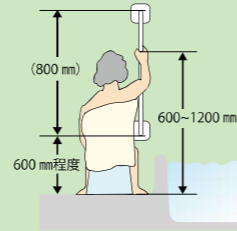
洗い場移動用横手すり

滑りやすい洗い場では、横手すりを設置すると浴室を安心して移動する事ができます。



洗い場立ち座り用縦手すり

洗い場に縦手すりを設置すると立ち座りがしやすくなります。洗い場床面から600~1200mmの位置を握れる高さに取り付けます。



実例写真

